

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成26年度実績評価）

事業名	特定不妊治療費助成事業						掲載ページ		
							73		
コスト	事業費	平成26年度執行額		平成27年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		119,745	千円	117,026	千円	施策名	母子医療	担当課	子育て支援課

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	不妊に悩む夫婦が、経済的理由で不妊治療を断念することがないよう、医療費が高額な特定不妊治療に要する費用の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図ります。また、専門の相談窓口を設置し、不妊に関する様々な相談に応じることで、心身の悩みを軽減します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	助成制度の周知を含め、情報誌への掲載や交流会の開催など不妊に関する情報の普及啓発に努めます。指定医療機関の審査を行い、質の向上に努めます。					
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	→ 【活動の状況】
	助成件数 不妊に悩む夫婦が経済的理由で不妊治療を断念することがないように、助成することが必要であることから、活動指標としました。 （最終目標と最終年度）		871 件	適切な助成	878 件	大変順調
	相談件数 不妊に関する様々な相談に応じ、心身にわたる悩みを軽減することが必要であることから、活動指標としました。 （最終目標と最終年度）		428 件	増加	430 件	
						遅れ

【Check】評価（分析）		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 助成件数、相談件数ともに増加しており、また、相談内容も多様化に対応するため、相談を受ける専門職のスキルアップや不妊に悩む方の交流会を実施するなど、相談体制の充実を図ったため、順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 助成内容は国の要綱に基づいて実施しています。今後は、治療費を助成事業するだけでなく、年齢による流産の増加や妊孕性なども考慮し、生涯を通じた女性の健康や働き方なども踏まえて、女性が安全に妊娠できるよう支援する必要があります。

【Action】 目的実現のために平成27年度以降に実施すること
平成27年1月に特定不妊治療助成の制度改正が行われたことから、新制度について事業の周知を図っていきます。また、不妊に関する相談者も増加しており、相談内容も多様になっているため、相談を受ける専門職のスキルアップや不妊に悩む方の交流会等を実施し、さらに、不妊に関する情報の普及啓発に努めるとともに、相談窓口の充実を図る必要があります。